

環境報告書ガイドライン等との対照表

(環境報告書の記載事項等に関する告示)項目	長崎大学 環境報告書2006 目次	環境報告書ガイドライン 記載項目
一 事業活動に係る環境配慮の方針等 (告示第2の1)	学長緒言 長崎大学環境配慮の方針	【1】基本的項目 ①経営責任者の緒言 【2】事業活動における環境配慮の方針・目標・実績等の総括 ④事業活動における環境配慮の方針
二 主要な事業内容、対象とする事業年度等 (告示第2の2)	はじめに 1 活動概況	【1】基本的項目 ②報告に当たっての基本的要件(対象組織・期間・分野) ③事業の概況
三 事業活動に係る環境配慮の計画 (告示第2の3)	2 環境配慮の計画と実績の要約	【2】事業活動における環境配慮の方針・目標・実績等の総括 ⑤事業活動における環境配慮の取組に関する目標、計画及び実績等の総括 ⑦環境会計情報の総括
四 事業活動に係る環境配慮の取組の体制等 (告示第2の4)	3 環境マネジメントシステム 環境配慮の取組の経緯 組織体制	【3】環境マネージメントに関する状況 ⑧環境マネージメントシステムの状況 ⑨環境に配慮したサプライチェーンマネージメント等の状況
五 事業活動に係る環境配慮の取組の状況等 (告示第2の5)	5 環境負荷及びその低減に向けた取組の状況 環境影響の全体像 環境負荷の状況 環境負荷の低減に向けた取組の状況	【4】事業活動に伴う環境負荷及びその低減に向けた取組の状況 ⑥事業活動のマテリアルバランス ⑭総エネルギー投入量及びその低減対策 ⑮総物質投入量及びその低減対策 ⑯水資源投入量及びその低減対策 ⑰温室効果ガス等の大気への排出量及びその低減対策 ⑱化学物質排出量・移動量及びその低減対策 ⑲総製品生産量又は販売量 ⑳廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策 ㉑総排水量及びその低減対策 ㉒輸送に係る環境負荷の状況及びその低減対策 ㉓グリーン購入の状況及びその推進方策
六 製品・サービス等に係る環境配慮の情報 (告示第2の6)	4 環境の保全に関する教育研究活動 環境教育活動 環境研究活動 国際連携活動 産学官連携活動 地域連携活動	【4】事業活動に伴う環境負荷及びその低減に向けた取組の状況 ⑳環境負荷の低減に資する商品、サービスの状況 ⑩環境に配慮した新技術等の研究開発の状況 ⑬環境に関する社会貢献活動の状況
七 その他 (告示第2の7)	6 長崎大学生生活協同組合との連携	⑪環境情報開示、環境コミュニケーションの状況 ⑫環境に関する規則遵守の状況 【5】社会的取組の状況

□ は、2006年度環境報告書において、記載していない、もしくは記載が完全でない部分を示しています。

環境報告書作成ワーキンググループ

責任者：中山 守雄
理事（評価・人事担当）
教授（医歯薬学総合研究科）
環境委員会委員長

石坂 丞二

学長補佐
教授（水産学部）
環境委員会委員

早瀬 隆司

副学部長（環境科学部）
教授（環境科学部）
環境委員会委員

武政 剛弘

副研究科長（生産科学研究科）
教授（生産科学研究科）
環境委員会委員

高良 真也

教授（環境科学部）
共同研究交流センター
環境安全マネジメント部門長
環境委員会委員

久保 隆

助教（共同研究交流センター）
環境委員会委員

出水 武雄

施設部長
環境委員会委員

作成に関しましては、多くの方々のご協力ありがとうございました。